

Information

科学技術館 新常設展示室 「くすりの部屋ークスリウム」公開のお知らせ

公益財団法人日本科学技術振興財団は、新常設展示室「くすりの部屋ークスリウム」を2016年12月22日より公開しました。製薬協はこの取り組みに賛同し、企画・制作・運営等、全面的に協力させていただいています。「くすりの部屋ークスリウム」は、くすりの研究室をイメージした展示室で、人間とくすりの歴史や、くすりのいろいろな形、くすりがかかると患部に作用するメカニズム、くすりの安全な使用方法、くすりがかかるまでの過程などについて、見て、触れて、楽しみながら理解できる展示室です。この新展示室を通して、子どもたちがくすりについて学び感じ取れる機会を提供していくとともに、くすりの研究者やくすりにかかわる職業を目指す子どもたちの意欲を育てていただくことを願っています。

展示コーナー

「くすりの歴史」

人間とくすりの歴史を解説パネルや生薬の実物展示でたどるとともに、製薬に関連した日本人ノーベル賞受賞者の研究成果を紹介することで、くすりの開発が現在も発展し続けていることを印象付けます。



「くすりのいろいろ」

普段私たちが利用しているくすりにはさまざまな種類があることを、解説パネルのほか、錠剤や点鼻薬など多様なくすりの形態を展示することで紹介します。



「くすりはなぜ効く?!」

体内に摂取したくすりが患部で効果を発揮する仕組みについて、解説パネルで学んだり、タッチパネル式のゲームで体験したりします。



「くすりと日常生活」

くすりの利用に関する基礎知識について、解説パネルや透明ディスプレイ映像で紹介し、くすりの安全で効果的な使用方法を伝えます。



「くすりのできるまで」

新しいくすり、その効果と安全性を確かめるために長い時間をかけ、適切な手順を経て開発されることを、解説パネルや透明ディスプレイ映像で伝えます。



「チャレンジ新薬研究体験」

新薬の研究者になったつもりで、試験管やプレパラートを用いた体験装置を使い、くすりの合成を映像で見たり、細菌やウイルスの画像を観察したりします。



ワークショップ

「チャレンジ新薬ゼミナール」

液体の化学分析や、溶液に溶けている物質の抽出実験を通じて、くすりの有効成分を見つけたり、取り出したりする体験をワークショップ形式で展開します。



クイズラリー

「チャレンジラリー」

この展示室全体に配置された端末をめぐって、くすりに関するクイズに挑戦する体験ができます。ラリーカードを1枚もらい、「くすり研究員入門ラリー」に参加して、すべての端末でクイズに答えると、最後の診断コーナーで評価が表示され、記念に持ち帰ることができます。

